

道づくりだより

第20号

2009. 10 島根県道づくり調整会議



(主) 津和野田万川線 新昭和トンネル(仮称)貫通

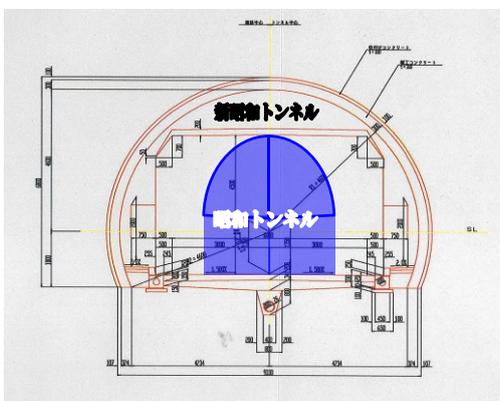
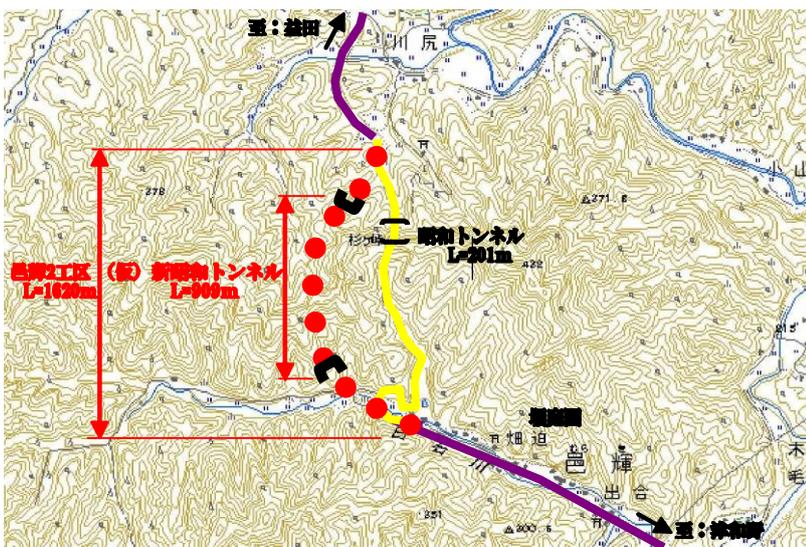
CONTENTS

1. 新昭和トンネル(仮称)が貫通しました
2. 「しまね防災ポータル」に道路の規制情報を掲載しています
3. 山陰自動車道建設促進 島根県民総決起大会'09が開催されました
4. 浜田自動車道 金城スマートIC 24時間化を試行しています
5. 古くなった農道の補修もしています
6. 林道の役割<Part2>

新昭和トンネル（仮称）が貫通しました

鹿足郡津和野町地内において、主要地方道津和野田万川線（邑輝2工区）のバイパス整備に伴い施工中の新昭和トンネル（仮称）が貫通し、平成21年9月27日に貫通式を行ないました。現在の昭和トンネルは、幅員が狭く車両のすれ違いも困難であり、平成12年6月には崩落事故もあるなど、その対策が急務となっていました。

また、本地区のバイパス整備により、太鼓谷稲荷神社などのある県内でも有数の観光地の津和野町中心部や邑輝地区の堀庭園と萩・石見空港のある益田市を結ぶ広域観光道路として地域振興に貢献することが期待されており、平成22年度の開通を目標に事業を推進していきます。



新昭和トンネルと昭和トンネルの断面の比較
現在の昭和トンネルは幅員が4.8mしかなく
車両のすれ違いが困難！！



【事業概要】

事業名	主要地方道 津和野田万川線 邑輝 工区
事業期間	平成13年～平成23年（予定）
計画延長	1620m
計画幅員	全幅員 6.0m（8.0～10.0）m
道路規格	3種4級
主要構造物	新昭和トンネル（仮称）
	トンネル延長 L=909m
	内空断面積 約49.3㎡
	施工方法 NATM
	工期 平成20年3月～平成22年3月（予定）



「しまね防災ポータル」に道路の規制情報を掲載しています。

どうしたら見ることができますか？

アクセスは次のようになります。

[島根県トップページ](#) [防災・気象](#) [しまね防災ポータル](#)



をクリック

どのような画面ですか？

地図上に規制箇所が表示されています。

その規制箇所をクリックすると、詳細な内容が表示されます。

表示する規制を選択して下さい

全面通行止のみ 全ての規制 表示の切り替え

表示する地域を選択して下さい

全て 表示の切り替え

表示凡例

(工事による規制)

全面通行止

部分規制等

(その他の規制)

全面通行止

部分規制等

*部分規制等は全面通行止め以外の片側交互通行・重量規制などです。

規制開始箇所
規制終了箇所

	路線名	原因	復旧見込	備考	所管事務所	
190	松江市八雲町熊野 松江市八雲町熊野	大東東出雲線	路肩崩落	未定	H21.7.21～大雨による崩土のため、当分の間、全面通行止迂回路あり	松江県土整備事務所

スタート 11.56

ご活用ください。

山陰自動車道建設促進 島根県民総決起大会'09 が開催されました。

山陰道の必要性を訴える県民総決起大会が9月26日(土)に浜田市で開催されました。大会には約600人の参加者が集まり、また、来賓として竹下衆議院議員、小室衆議院議員、溝口知事、田原県議会議長らが招かれました。

主催者である山陰自動車道(安来～益田)促進期成同盟会会長の長岡出雲市長は、「今年度、山陰道斐川ICから出雲IC、益田道路の一部が開通するが、両区間開通後も県内山陰道の整備率は46%にとどまり、未事業化区間も多い。」と現状を訴え、「新政権に山陰道の必要性、重要性を理解いただくためにも我々が立ち上がり、熱い思いを中央に届けることが何よりも意義がある。」と主張しました。

また、竹下議員は「国家戦略として高速道路をネットワーク化させなければ本来の機能は発揮されない。」と主張。小室議員は「全国的に見れば遙かに遅れた県であることは間違いないと認識している。国土政策として国の責任で整備すべきだ。」と訴え、溝口知事は「道路という基礎的インフラの整備の遅れを国が是正するよう、新政権に向かっても力強く伝えていかなければならない。」と続けました。

続いて行われた講演では、県土木部の西野次長が、山陰道が果たす事故・災害時の代替機能、救急医療環境の向上、観光振興への効果などを説明しました。また、地域住民の代表として、益田地域医療センター医師会病院看護師長の倉増氏が救急医療の現場から山陰道の必要性を、浜田商工会議所青年部会長の高木氏が地元経済界が山陰道に寄せる期待を意見発表しました。

大会の最後には、参加者全員で「高速道路ネットワークは、国が国民に保障すべき基礎的サービスであり、その整備財源を確実に確保すること」などの決議文を採択し、ガンバロウと声をあげました。



山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会'09の様子(浜田市の島根県立大学講堂)

山陰自動車道 斐川～出雲間
いよいよ11月28日(土) 開通!

斐川～出雲間 ウォーキング大会
11月15日(日)に開催!

浜田自動車道 金城スマートIC
24時間化を試行中!

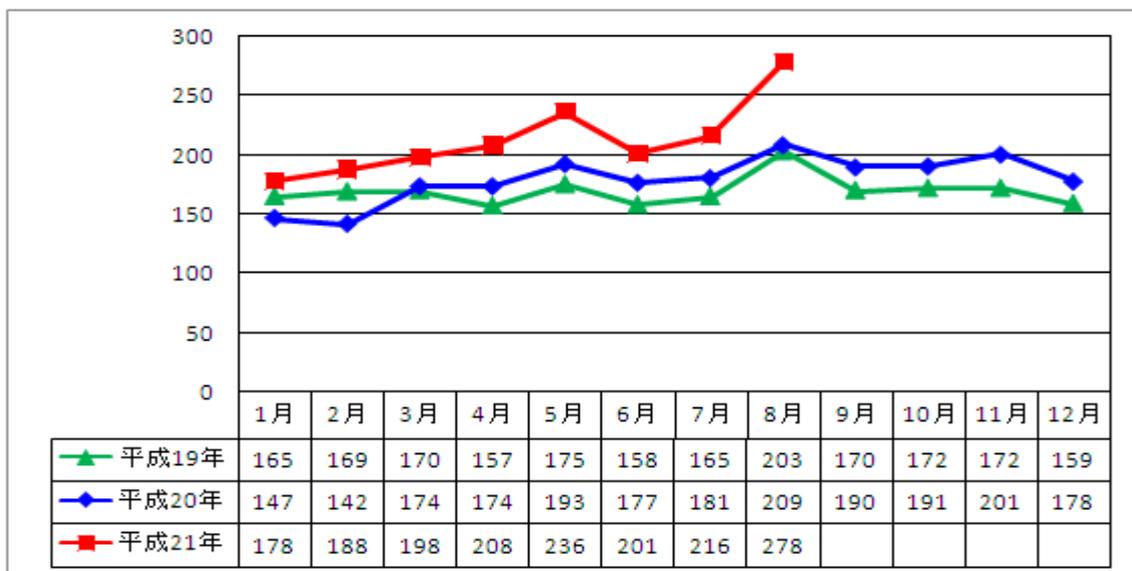


現在『金城スマートIC』は、24時間化の試行運用により、深夜・早朝の利用もできるようになっています。この試行は、浜田自動車道の利用促進、地域産業の発展への寄与および地域住民の利便性向上を目指すものであり、24時間化による地域産業活性化等への影響、需要の把握、運用時間延長に伴う課題の抽出、対策の検討を行うことを目的として実施しています。

- 【実施箇所】： 浜田自動車道金城スマートIC（浜田市金城町今福）
- 【期 間】： 平成21年10月30日（金）～平成22年3月31日（水）
- 【実施主体】： 金城スマートIC地区協議会（浜田市金城支所建設課内）

金城スマートICでは、平成19年に本格設置されて以降、着実に利用量が増加しています。今年8月には、ETC休日1000円割引の影響もあり、昨年比33%増の278台の利用がありました。美又温泉、かなぎウエスタンライディングパーク、金城カントリーなどにお越しの際は、ぜひ金城スマートICをご利用ください。

金城スマートICの利用交通量の推移（台/日）



西日本高速道路株式会社中国支社の発表するデータ

山陰自動車道 斐川～出雲間
いよいよ11月28日(土) 開通!

斐川～出雲間 ウォーキング大会
11月15日(日)に開催!

浜田自動車道 金城スマートIC
24時間化を試行中!

古くなった農道の補修もしています

県内には、大小いろいろな農道があります。

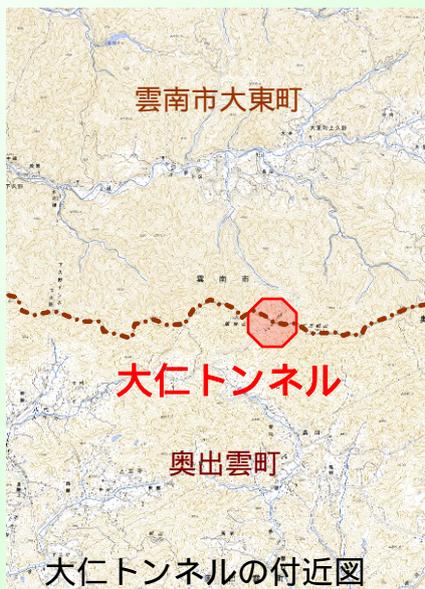
県で作った農道は、地元の市町村へ譲られ、日常的な維持管理は市町村で行われています。しかし、老朽化してくるとだんだん日常的な維持管理では追いつかなくなってきます。このため、県では農道（そのなかでも橋やトンネルといった大きな構造物）がなるべく長持ちするように平成19年度から補修も行っていきます。

今年度は、下記2箇所では補修工事を行っています。

【おおに大仁トンネル（大仁農道）】

大仁トンネルは、雲南市大東町と仁多郡奥出雲町の境にある340mのトンネルです。昭和57年に完成し、完成後30年近く経つため随分傷みも出てきました。

トンネルの内壁（専門用語ではふっこう覆工と言います）の裏に空洞が出来ていることが判明したため、空洞を埋める作業をしています。（空洞があるとコンクリートが痛みやすくなります。）



空洞に入れるのは、硬質発砲ウレタンです。これは、2つの液を混ぜて作る発泡スチロールのようなものです。混ぜると約40倍に膨らみ、2分くらいで固まります。

埋めるときは、天井に小さな穴を開け、2つの液が混ざりやすいように加工した専用のホースを使って、液が隅々まで行き渡るように圧力を掛けながら流し込みます。



『しまねの農業農村整備すごろく』

キャラクター



ドジョウのどうじょ君



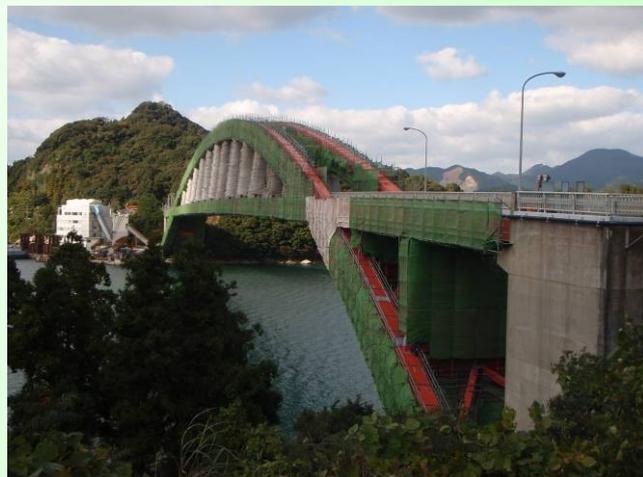
県内位置図

【西郷大橋（広域農道岬線）】

西郷大橋は、隠岐郡隠岐の島町の西郷湾に架かっている長さ271mの赤い色の橋です。昭和52年に完成しました。海風をまともに受けるため、10年に1回程度錆止め塗装の塗り替えを行ってきています。今回約10年ぶりに塗り替えを行い、合わせて、航路灯の取り替えも行います。



西郷大橋の付近図



安全のため、足場を掛けて作業しています。



大きな橋ですが、機械で作業できないため手作業で塗り替えをしています。

塗り替えの工程は、「清掃 素地調整 下塗り 中塗り 上塗り」となっています。左の写真はアーチ部分の下塗りをしているところ、右の写真は路面の下付近の上塗りをしているところです。

事業概要

- ・事業及び地区名：農道環境整備事業 大仁地区
工 期：平成19年度～平成23年度（予定）
対象路線：大仁農道

- ・事業及び地区名：農道保全対策事業 島後地区
工 期：平成20年度～平成23年度（予定）
対象路線：広域農道岬線、広域農道有木線、広域農道東郷線、北方代農道

林道の役割 <Part 2> 〔お役に立ちます！林道〕

林道は、森林を健全な状態で維持・管理し、森林からの様々な恩恵を私たちの生活の場に運ぶために不可欠な施設です。また、山村地域の人々の通勤、通学などの生活道や、森林と山村・都市を結び森林を憩いの場として提供するなど大切な役割を担っています。
この林道の役割について、今回は、「お役に立ちます！林道」と題してご照会します。

お役立ち その1

迂回路としての役割

平成18年度の梅雨前線豪雨(7/15～7/22)による最大24時間雨量268mm、最大時間雨量41mmという異常な降雨により、松江市内各所でがけ崩れ等の災害が多発しました。この降雨により、本土と隠岐島を結ぶフェリー・高速船の発着港としても知られる美保関町七類地区(約300戸、1,000人)につながる国道及び県道が被災しました。
この際、林道美保関線が唯一のライフラインとして機能し、地区住民の孤立を救うばかりではなく、隠岐島と本土との交通手段の確保にも大きく貢献しました。



⊗ 通行止め箇所

写真1

国道485号線と県道松江鹿島美保関線が通行止めとなり、
林道美保関線が七類地区への唯一のルートとなった。



国道485号線 市道への迂回路表示



写真2



市道 林道美保関線への迂回路表示

お役立ち
その2

森林学習の場

近年、環境学習や労働体験の一環として森林における学習会が数多く催されています。子ども達は林道を使い森林を訪れ、様々な体験をし学校へと戻っていきます。森林でのこうした体験は、子ども達に森林と環境についての見識を深めるきっかけを与えます。

現在、林業は深刻な担い手不足に悩まされていますが、こうした体験をした子ども達が将来、林業を志してくれる可能性もあります。



高性能林業機械による作業を見学する子どもたち(浜田市 金城弥栄線)



林道脇の作業場で森林整備について説明を受ける子どもたち(隠岐の島町 上ヶ床線)

お役立ち
その3

地域交通の改善

林道は森林整備のための道としての役目とともに、山村等に暮らす人々の生活道として重要な役割を果たしています。通勤・通学など地元住民の生活に密着した林道は、そこに暮らす人々にとって欠かせない存在となっています。



集落間を結ぶ林道(浜田市)



集落間を結ぶ林道(松江市 美保関線)



地域とふれあう基幹林道「弥栄ロードレース」



一般車両が通行する林道(邑南町 新山線)